

令和7年度 社南公民館 事業方針

基本方針

社南地区は日野川・狐川・江端川の清流が流れ、雄大な田園風景と後方には足羽山・兎越山・八幡山の足羽三山が緑豊かにそびえ立ち、四季折々の美しい姿を見せてくれている。

一方で、地区内には四方に公道が張り巡らされ、大型量販店や飲食店が立ち並び、活気があり、生活に便利なまちでもある。

今後、一人暮らし高齢者の一層の増加、生活面や福祉面などで様々な課題が生じ、個々の異なる対応が求められることも想像され、「地域社会づくりに向けた次世代の担い手育成」や「地域全体での子育て」「身近な地域コミュニティでの住民自治の構築」など複雑化する地域課題に対応することが必要になってくる。

公民館を核として、地域の団体や諸機関が一体となって、地域の特性を生かしながら10年、20年先の風景を見据え、全ての世代が満ち足りた人生を送ることのできる環境を作ることができるよう、「持続可能な地域社会」に向けた地域づくり活動を推進していく。

実施方針

(1) 学習ニーズと地域課題に対応した学習機会の提供



家庭教育事業

- 多くの大人が子どもに接し、親同士や地域の人々とのつながりによって、親として学び、育ち合う中で、子どもたちを「地域の子ども」として見守り育てる、地域においての子育てや家庭教育を支えるしくみづくりを目指す。



少年教育事業

- 小学生の頃の様々な体験は、自尊心や外向性、精神的な回復力といったことが高くなる。全ての子ども達が置かれている環境に左右されることなく、体験の機会を十分に得られるような環境づくりを目指す。



青年教育事業

- 若者が自由な発想で活動し輝いて生きるために、地域で出来ることは何か？地域全体で考える。



福井学事業

- 地区内を歩きながら、その町内の今昔を聴き取り情報を発信することで、あらためて自分の住むまちを見直し、郷土への愛着や誇りを次世代へ伝えていく方法を探る。



健康長寿事業

- 高齢者が、はつらつと生きがいのある日々を送るため、講演会や音楽会・体験ツアーなど、楽しく意欲的に学ぶことができるよう事業の充実を図る。



課題解決事業

- 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標(SDGs)の取組を進め、地球上の「誰一人取り残さない」社会を実現するため、ひとりひとりが出来ることを考え、行動していく。

自主グループ活動の推進

- 自主グループの指導や育成のための連絡会を開催し、公民館活動の充実・活性化を図る。

(2) 公民館運営体制

- 地域住民が、公民館事業等を通じ、誰もが楽しみながら参加できるよう公民館だよりやホームページ、SNS等を充実させ、多様な情報提供を行う。

(3) 住民が主体となった地域活動への支援

- 諸団体等との話し合いをする機会を設け、地域の思いや地域課題に対する危機感を共有し、将来的に地域を担う人材を育成するための仕掛けを作っていく。

社南公民館は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

